

世代を超えての子育て

赤磐市立周匝保育園

西山雅子

我が家は私たち夫婦に子が三人、世帯は別  
 になるが隣には夫の両親が住んでいるので同  
 居といってもいいだろう。西山家はとても暖  
 かい家庭でこのことをとても感謝し、この家  
 庭に入ってきたと同時に、この手厚さが正  
 直重たく感じた時期もあったことも事実。  
 そう感じたのも束の間。二人目の子が生ま  
 れて以降は特に、義父母の手助けがありがた

く感じている。日中は上の子の面倒をみてく  
 れたり、夜にはお風呂に入れてくれたり、保  
 育園の送迎を代わりにしてくれたり。それが  
 ら私が体調を崩した時には、家族分の食事を  
 用意してくれる。自分たちの仕事や農作業が  
 忙しいのにもかかわらず、いつもよく私の  
 負担を軽減してくれようとする。何よりも感  
 謝なのは、義父母の方から〇〇しようか？  
 と声をかけてくれることだ。私の性格上、人  
 にお願ひする、甘えることが苦手、その上

更に相手も忙しくしているからと、できるだ  
 け自分でやろうとする。声をかけてもらえ  
 だけで嬉しいし助かることもよくある。  
 それが今年の夏、正にそれにあたる。上二  
 人は小学生。私が仕事の時はほぼばあちゃん  
 人家に入り浸っているようだ。おまけに昼食  
 まで用意してくれている。お弁当を作ってい  
 た年もあるが、今年は二人が、  
 ばあちゃんところで食べる、ばあちゃんに作  
 りてもらおう。

と言うので、ここは思いきって、申し訳ない  
 気持ちも隅に置き、甘えさせてもらっている。  
 世代を超えての同居は子どもたちにとっ  
 てプラスになることが多い。田畑の手伝いに  
 年三回のお団子作り、年末のおもちつき、お  
 墓参りは毎回一緒に行く。特に長女は、学校  
 の宿題となると腰が重たいのだが、こうい  
 た家での年中行事や祖父母の手伝いに関し  
 ては進んでやる子で、私より早くにたくさん  
 のことを吸収していく勢いで、そのことに少  
 焦

前を出すと、  
 ああ、○○さんとこのかば。○○さんには  
 昔からよくしてもらって、てなあれ。  
 などと話が広がっていき、次回お会いした時  
 も少しお話できたりする。この繋がり嬉し  
 いし私は好きだ。近頃は、知らない人には声  
 をかけないように、などと耳にしたりもする  
 が、それでも近所に知った顔の人がいるとい  
 うことは、子どもたちにとっても、また親の  
 私たちにとっても安心であり、らよと挨拶

いる。  
 また地域との繋がりもここから発生してい  
 ると思われる。子連れで散歩をしていると声  
 をかけられることも多く、義祖父や義父の名

リと危機を感じつつも、のんびりとした嫁で  
 ある。下二人は自分たちの好きなことをし  
 て遊ぶ方が優先だが、それでも、うちではこ  
 うするんだよ、この時期にはこういうことを  
 するんだよ、と何となく知って、いることを毎  
 年繰り返していく内に定着していくと考えて  
 いる。

純粋に育って、いてほしいと願うばかりだ。  
 一番大事なこと、決して倉らず、感謝の気持ち  
 ちを忘れずにだ。

を交わすだけでも、地域との繋がりに発展し  
 ていくので、お互い挨拶くらいはできたら  
 と思っっている。  
 義父母の力を借りて、はいえど、子育て  
 ては全く思うようにいかな。私の育て方が  
 悪いから、と強く突きつけられることがしば  
 しばあり悩む毎日だ。それでも放棄するわけ  
 にはいかず、せ、かく三世代で暮らしている  
 のだから、義父母の力を借りて、子どもたち  
 はたくさんのことを経験しながら健やかに、